



JTUC-TOKUSHIMA  
**連合徳島**

vol. 256

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内

tel. 088 (655) 4105

fax. 088 (655) 4113

E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp

http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 森本佳広

当面の日程

- ◎ 4月10日(金)
  - ・2015中小春闘勝利・未解決組合支援
  - 4.10徳島総決起集会(ふれあい健康館)
- ◎ 5月1日(金)
  - ・第86回徳島中央メーデー(御成婚広場)



写真左から経営者4団体要請、徳島県要請、労働局要請

2015春闘  
政策・制度要求

# 県内3団体に要請書提出

連合徳島と春闘県共闘会議は、労働局、徳島県、経営団体の3団体と2015春闘に関する政策・制度要求の要請行動(交渉)を行い、要請書を提出。働き方改革、雇用対策や非正規労働者の処遇改善、賃上げで景気の底支え等を訴えた。

## 月例賃金の安定的かつ継続的な引き上げを要求

連合徳島は、3月6日に労働局、徳島県、3月12日に経営団体に対する要請行動を行い、執行部と徳島県中小労働対策本部、女性委員会の代表が参加した。経営団体に対する要請行動で河村議長は「2015春季生活闘争は、月例賃金の安定的かつ継続的な引き上げでデフレ経済からの脱却、経済の好循環で社会全体の底上げ・底支え・格差是正が重要課題であり、非正規労働者、地場中小・零細で働く仲間も含めての賃金引き上げ、時間短縮、政策・制度の3本柱で取り組んでいる。政策・制度面では、労働者保護ルールの改善を許さず、働く者の命と雇用を守り、『STOP THE格差社会 暮らしの底上げ実現』キャンペーン第3弾の取り組みと、GPIFの運用問題に関連した『年金積立金はだれのもの』キャンペーンを展開していく。」とあいさつ。これに対し経営側は要請行動の趣旨は十分に理解しているが、県内の中小、小規模事



徳島市内中心部デモ行進



寒風吹く中、各構成組織から約1,000人が結集

### 2015春闘勝利 総決起集会

## デフレから脱却 経済の好循環確立を

### 春闘勝利に向けデモ行進

徳島県春闘共闘会議(連合徳島)は、3月6日藍場浜公園で、2015春季生活闘争勝利3・6徳島県総決起集会を開催し、各構成組織から約1000人が参加した。

冒頭、主催者を代表し、河村共闘会議議長は「すべての働く者の月例賃金を引き上げ、社会全体の底上げや底支えにつなげることが重要である。デフレから脱却し、経済の好循環を確立す

るために、共同連携を強め、社会全体に波及するよう団結して取り組んでいく。政策・制度は、労働者保護ルール改善の問題について、引き続き働く者の命と雇用を守るため、『STOP THE格差社会 暮らしの底上げ実現』キャンペーン第3弾と、GPIFが運用している私たちの年金積立金に関する『年金積立金はだれのもの』キャンペーンと合わせて取り組んでいく。また、第18回統一地方選挙は、政策実現に向け、重要な戦いであり、連合徳島推薦・支持候補全員の当選をめざ

し、全力を結集する。」とあいさつ。続いて、森本共闘会議事務局長から「徳島県春闘共闘会議は、2015春季生活闘争方針に基づき、ヤマ場を迎える大手の交渉を支援し、中小・地場の闘争に繋げていくため、今後の取り組みを確認し、意思統一を図るとする方針と『過労死等防止対策推進法』の趣旨を生かす『過労死ゼロ』宣言」が提起された。その後、各部会から決意表明があり、小畑連合徳島青年委員会委員長が、総決起集会アピールを提起し全体の拍手で採択された。最後に、河村共闘会議議長の団結がんばろうで集会を閉じた。集会終了後、徳島市内中心部デモ行進を行い、2015春闘勝利に向け氣勢を上げた。

業者にとっては景気回復の実感はなく数字として表れていない。現実には厳しいと難色を示した。労働局、徳島県要請行動については、経済の好循環に向けた産業政策と雇用政策の一体的推進、雇用の安定と公正な労働条件の確保、公正なワークルールの確立、「全世代支援型」社会保障制度の推進、労働環境・条件の改善、ワークライフバランスを軸に要請し意見交換を行った。

## 連合徳島の活動アピール

—2015Syuntoふれあいファミリーデー—



組合員や家族など約1,000人が参加



「核兵器廃絶1000万署名」に協力

連合徳島、徳島県春闘共闘会議、県民と働く者のとくしまフェスタ実行委員会が3月15日、板野町のあすたむらんど徳島で、2015Syuntoふれあいファミリーデーを開催し、あいにく小雨の中、約1,000人が参加した。開会にあたり、河村会長から連合徳島の取り組みを紹介し、今春闘を取り巻く情勢とすべての働く者の月例賃金を引き上げること、デフレから脱却し、経済の好循環確立につなげ

ようと呼びかけたあと、東日本大震災復興支援大抽選会(東北3県の物産品が景品に)を午前・午後2回行った。メインの催し物として、妖怪ウォッチ・ジパニヤン・バラエティショーが上演され、子どもたちの歓声が響き渡り、記念写真には長い行列ができた。なお、会場において、核兵器廃絶1000万人署名の協力も呼びかけるとともに、労働・生活相談ブースの設置、女性委員会・青年委員会による綿菓子やドリンクの販売等を行い、多くの参加者で賑わった。





各構成組織・団体から60人が参加

部落解放徳島地方  
共闘会議定期総会

# 狭山再審闘争を軸に

## あらゆる差別撤廃と人権確立へ

第36回部落解放徳島地方共闘会議総会が、3月20日、阿波観光ホテルで開催され、

各構成組織・団体から代表員60人（うち委任状4人）が参加した。

総会は、橋本副議長（解放同盟）の開会あいさつで始まり、議長に渡邊代議員（全水道徳島水道労組）を選出後、共闘会議を代表して河村議長（連合徳島会長）は「狭山事件発生から

これまで21回にわたる三者協議が開かれ、証拠開示が行われたが、検察は殺害現場を特定するための、重要

な捜査書類については、未だ、不見当と回答し納得できず説明もしていない。いざさらなる証拠開示、事実調べる実現へのチャンスであり、今が再審実現への正念場である。さらなる取り組みを展開しよう。また、足利事件や布川事件の再審無罪、大阪地検特捜部検察官による証拠の改ざん事件などが、えん罪を防止し誤判を正すため、『公正な証拠開示』を強く求め運動

を強化する必要がある。部落差別をはじめ、あらゆる差別撤廃と人権確立へ向け取り組んでいく」とあいさつ。

続いて、松岡事務局長（連合徳島）から1年間の活動報告・決算報告、池本会計監査（連合徳島）から監査報告が行われた後、当面する取り組みとして、①部落問題・人権問題についての学習・教宣活動の推進②世界人権宣言の具体化、「人権教育」啓発推進法

を活用した取り組み③部落解放・人権政策確立の取り組み④就職・雇用における差別撤廃と公正なワークルール確立⑤狭山第三次再審闘争の取り組み等を軸とした活動方針、予算（案）が提案され、全体の拍手で承認された。

また、役員改選では新事務局長に連合徳島の板東副事務局長が就任した。最後に、富永副議長（平和センター）の閉会あいさつ、河村議長の団結ガンバロー三唱で総会を閉じた。

各構成組織・団体から代表員60人（うち委任状4人）が参加した。

総会は、橋本副議長（解放同盟）の開会あいさつで始まり、議長に渡邊代議員（全水道徳島水道労組）を選出後、共闘会議を代表して河村議長（連合徳島会長）は「狭山事件発生から

これまで21回にわたる三者協議が開かれ、証拠開示が行われたが、検察は殺害現場を特定するための、重要

な捜査書類については、未だ、不見当と回答し納得できず説明もしていない。いざさらなる証拠開示、事実調べる実現への正念場である。さらなる取り組みを展開しよう。また、足利事件や布川事件の再審無罪、大阪地検特捜部検察官による証拠の改ざん事件などが、えん罪を防止し誤判を正すため、『公正な証拠開示』を強く求め運動

を強化する必要がある。部落差別をはじめ、あらゆる差別撤廃と人権確立へ向け取り組んでいく」とあいさつ。

続いて、松岡事務局長（連合徳島）から1年間の活動報告・決算報告、池本会計監査（連合徳島）から監査報告が行われた後、当面する取り組みとして、①部落問題・人権問題についての学習・教宣活動の推進②世界人権宣言の具体化、「人権教育」啓発推進法

を活用した取り組み③部落解放・人権政策確立の取り組み④就職・雇用における差別撤廃と公正なワークルール確立⑤狭山第三次再審闘争の取り組み等を軸とした活動方針、予算（案）が提案され、全体の拍手で承認された。

また、役員改選では新事務局長に連合徳島の板東副事務局長が就任した。最後に、富永副議長（平和センター）の閉会あいさつ、河村議長の団結ガンバロー三唱で総会を閉じた。



差別のない社会づくりに向け団結ガンバロー



アピールウォークに30人が参加



古賀会長を囲んで記念撮影

KNT47  
in 徳島

# 連合徳島 青年・女性委員会 が古賀会長と直接対話

連合は、2014年度活動計画で提起した「新たな対話活動」の取り組みの一環として、古賀会長が全国各地へ向き、次世代を担う若い世代の組合員と直接対話することにより、労働運動および連合運動の継承とともに、地域の若手組合リーダーが抱える課題や労

働運動に対する思いを開き、今後の連合の活動に活かすことを目的に、『KNT47』(Koga Newleader Talk)を展開している。「古賀会長とニューリーダーの直接対話KNT47 in 徳島」対話集会は2015年3月14日ホテルクレマン

ト徳島で開催され、連合徳島青年委員会・女性委員会16人が参加した。冒頭、連合徳島河村会長から「徳島は43番目の開催であり、皆さんが日頃考えていることについて率直な意見を交換してほしい。」とあいさつ。参加者自己紹介の後、古賀会長から「今日は皆さんが主役であり、ご意

見、ご質問に答えていきたい。労働運動の活性化には、組合役員がもっと組合員へ近づき、対話をしていく必要がある。原点に戻り、人と人

## ニューリーダーが主役で意見交換 労働運動の活性化と連合のパワーアップを



記者会見に臨んでいる古賀会長

との対話を行いたい。」と挨拶・問題提起。その後、ニューリーダーからは「職場が忙しく組合員同士での話をする場所・時間がない。」「若年層だけでなく組合全

国際女性デー

## 連合徳島女性委員会が街宣 男女平等社会実現をアピール

「3・8国際女性デー」は、1857年にニューヨークの工場で起こった火災事故で多くの女性が亡くなったことを受け、3月8日に低賃金や長時間労働に抗議する集会が開かれたことが始まりである。この集会に参加した女性たちは、賃金改善とよりよい生活を求めるシンボルとして「パン」と「バラ」を掲げた。「パン」は賃金や労働条件の向上を表し、「バラ」は女性の尊厳や人権の確保を表すシンボルとしている。その後、3月8日は国連において「女性の権利と平等のために闘う日」と位置付けられた。連合は「3・8国際女性デー」全国統一行動として全国で行動を展開している。

最後に、アイ女性会議事務局長高開千代子さんよりアピールを提起し、採択され、閉会した。

### 第4次男女平等参画推進計画

- 1、働きがいのある人間らしい仕事（ディセントワーク）の実現と女性の活躍の促進
- 2、仕事と生活の調和
- 3、多様な仲間の結集と労働運動の活性化